

第7回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第7回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成23年9月調査

	調査数	前回調査		今回調査		
		A 現況 (H23. 6)	見通し (H23. 7-9)	B 現況 (H23. 9)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (H23. 10-12)
総 合	100	-45	-12	-34	+11	-3
農業	10	-78	-11	-56	+18	0
建設業	11	-55	+9	+13	+68	+38
製造業	11	-9	-9	-30	-21	+10
卸売・小売業	25	-44	-24	-28	+16	-24
観光業	10	-50	+50	-70	-20	+50
飲食業	10	-50	-40	-50	±0	±0
サービス業	23	-39	-26	-26	+13	-26

結果のポイント

- ・総合景況感は、依然としてDI値マイナス（34）である。
- ・前回6月調査値（-45）と比べるとプラス11となり、景況感は改善した。

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い」「悪くなる」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。